

障害のある人もない人も安心して安全に暮らせる条例

日本共産党 えんど久子市議

9月
市議会で

全会一致めざし議論

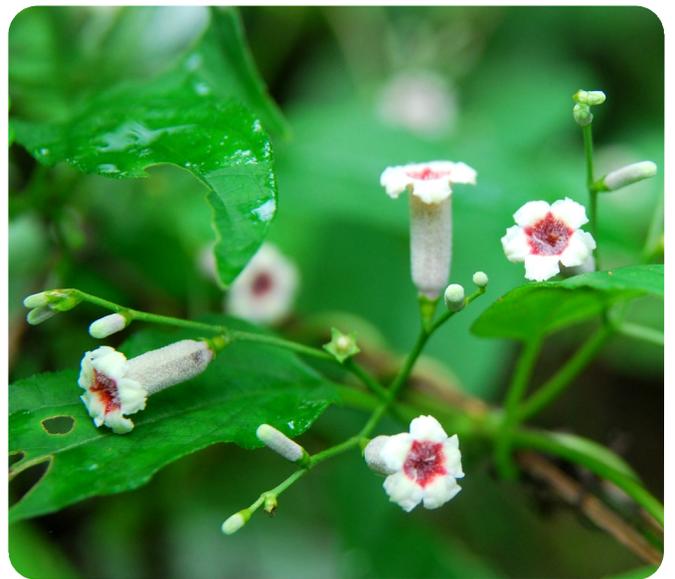
9月13日の一般質問で、日本共産党の猿渡（えんど）久子市議は、この議会に提案されている障害のある人もない人も安心して安全に暮らせる条例について質問しました。

えんど久子市議は、多くのみなさんが意見を出し議論して案を作った条例であり、立派な逐条解説を作った能力と努力に感心したと、大いに評価し質問に入りました。

幅広い人にプラスに

まず、えんど市議は「条例の目的に共生社会の実現とあるが、この条例は障がいがある人だけでなく幅広い人にプラスになることをわかってもらえるよう、団体や市民も一緒になって啓発を」と求めました。

「多くの人が障がい者への理解を深め、社会的障壁を取り除かれることにより、障がいのある人が感じている生活のしづらさや不安の解消につながる。また、障がいのある人にとって住みよいまちは、お年寄りを含め、障がいのない人にとっても生活しやすい優しいまちであり、温泉観光都市である別府にとって、イメージ的にもプラスになると考えている。障がいのある人や家族等にも同行してもらい、一緒になって啓発活動をしたい」と、障害福祉課長より答弁がありました。



ヘクソカズラ

親しみやすく通称を

「親しみやすくするため条例名に通称を」の質問には「いくつかの案があるが、もう少し検討して来年4月の施行までには決めたい」とのこと。

親亡き後の問題については、「それぞれの障がいによって抱える問題が違うので、解決策を複合的に考えていく必要がある。専門家を設置して検討したい」と答弁しました。

えんど市議は「最終的な解決は地域づくりだ」というご意見や「障がい者もひとり暮らしなどの選択肢があることを知ってもらいたい」という声を紹介しました。

ご意見・要望などお寄せください。相談事などもお気軽にどうぞ。

日本共産党 別府市議団
げんきニュース

発行責任者 平野文活
別府市石垣西8-2-31
TEL0977-22-6576

No.572
2013.9.18.

障害のある人もない人も安心して安全に暮らせる条例

生活をしづらさを解消を

ゴミ収集車も連携し道路改善を

えんど久子市議は、さらに「全庁体制で取り組むとのこと。側溝のふたの割れ目など小さいものでも子どもや高齢者などには危ない。市内をくまなく廻るゴミ収集車からそのような箇所の連絡をもらおうなど連携を強め改善を」と、生活環境部長と建設部長に質問しました。

「生活道路についていろいろな方々から情報を収集し、障がい者のニーズ調査を優先順位をつけて取り組みたい」と答弁。

各部長より「直営のゴミ収集車だけでなく委託先の民間にも協力を求めたい」

作業部会で障害当事者や関係者が長時間の会議を10回行ない議論を重ねて、条例案をねりあげました。

市役所レセプションホールでの作業部会 2012. 8. 22.



職員体制の充実を

えんど久子市議は「条例の前文にお互いに連携・協働するしくみをとあるがソフト面も大事。車イス温泉道は条例を先取りしたようなすばらしい実践だと思う。彼らは官民一体でソフト事業を提案している。条例を絵に描いた餅にしないために」

は職員体制も大事だ」と、市長に答弁を求めました。

浜田市長は「全庁体制で共通の認識を持って取り組んでいきたい。誰もが生活のしづらさや不安を感じないよう官民共同で優しい街づくりをすすめていきたい」などと述べました。

9月20日の本会議で採決

17日の厚生環境教育委員会、えんど市議は「障害福祉課を中心に取り組むとのことだが、適した人材や人数の配置が必要」と再度部長に質問。

部長は「正式な人員配置の要望としては、毎年年末から年初めに行っており、その時期に障害福祉課の人員を増やす方向で担当部署と協議している」と答弁しました。

道路などのハード面については「今年7月にアンケートをお願いし、障がい者団体より137件の回答があり、具体的な箇所の要望もあつた。優先順位をつけて取り組みたい」とのことでした。

委員会でも全会一致で可決。20日10時からの本会議で採決されます。